

# いわた羅針盤

ら しん ばん

No.94

令和5年11月定例会



特集

## 子育て家庭の応援団

～ファミリー・サポート・センターの活動～

### CONTENTS

- P 2 特集 子育て家庭の応援団
- P 4 11月定例会議案審議
- P 7 委員会審査
- P 8 代表質問（6会派）
- P 15 一般質問（3人）
- P 17 委員会行政視察報告
- P 18 トピックス
- P 19 「シティミーティング」のご意見紹介
- P 20 審議結果 ほか

# 特集 子育て家庭の応援団

## ～ファミリー・サポート・センターの活動～

今回の特集は、子育て支援総合センターのびのびが事務局として行っているファミリー・サポート・センター事業をご紹介します。

通称「ファミサポ」と言われていますが、地域の人たちで子育てを支えあう事業で、援助会員になった理由や課題などをお聴きしました。

(取材日:令和5年12月9日)(聞き手:市議会民生教育委員会 鳥居節夫委員長 鈴木正人副委員長)

### 援助会員になった理由は。

**鈴木** 私が仕事をしていた頃、自分の子どもに家で留守番をさせるのが心配だったので、自分も仕事を辞めたら子どもを預かるような活動がしたいと思っていました。市の広報にファミリーサポートセンター(ファミサポ)養成講座の募集記事を見て、これだと思い申し込みました。

**田中** 子育て支援センターで働いている友達に誘われたのがきっかけで、始めてみたらいろいろなお子さんと触れ合えるのが楽しくて可愛くて、まだ続けていけそうだと思っています。

**山下** 専業主婦をしていて、社会とのつながりが乏しくなってきたところに市の広報を見て、やってみようと思えました。いろいろな方とのつながりができたらいいなと思いい応募しました。

### 課題と感じていることはありますか。

**落合** 送迎のニーズが多い中、送迎できる援助会員の人数が少ないことです。

**鈴木** 自動車は慎重に運転することが一番だと思っていて、安全運転を



心掛けています。

**田中** お子さんを預かる援助を行っている時に、保育関係の知識があったらいいなと感じたことがあります。

**山下** 次の世代の援助会員がほしいところで、途絶えてしまったらもつたいないと思います。次の世代の人たちがいてくれると安心します。



ファミリー・サポート・センター  
アドバイザー  
おちあい ゆうこ  
落合 侑子さん



ファミリー・サポート・センター  
援助会員  
すずき あきこ  
鈴木 章子さん



ファミリー・サポート・センター  
援助会員  
たなか あつこ  
田中 敦子さん



ファミリー・サポート・センター  
援助会員  
やました まり  
山下 真理さん

### 利用者の方へ伝えたいことはありますか。

**落合** ファミサポって、なんだろうと思う方もいると思いますので、一度、事務局である「子育て支援総合センターのびのび」に遊びに来てどんなものなのか聞いていただけたらと思います。

**鈴木** ファミサポをどんどん利用していただければ、お母さんのリフレッシュにもなると思います。気軽に使えることを伝えたいです。

**田中** 利用する方もハードルが高いと思わないで、のびのびの方に相談していただけたらと思います。

**山下** お子さんと1対1で関わることでできます。そういう場があることを知っていただけて、気軽に足を運んでいただけると嬉しいです。

### 市の子育て支援施策に必要なと思うことはありますか。

**落合** 小学生は単独で子育て支援センターを利用することができないので、小学生の居場所が少ないです。市内各地に小学生や中学生、高校生の居場所があるといいなと思います。

**鈴木** 子どもの居場所は大賛成です。竜洋地区でも空いている施設がある

### どのような事業ですか。

**落合** 仕事や家庭の都合でお子さんを見られない保護者の代わりに、地域の方が有償ボランティアとして、お子さんの預かりや送迎等を行う事業です。援助会員になる際には、養成講座を受けていただきますが、資格を取る必要はありません。特に年齢制限もなく、男性の方でも大丈夫で、幅広い世代の方が携わっています。圧倒的に送迎の援助が多いです。お子さん1人につき1時間600円〜800円の料金を保護者が支払います。

**鈴木** 放課後児童クラブの送迎や、以前は、袋井特別支援学校のバス発着所への送迎をしたこともありました。

**田中** 子育て支援センターでの預かりや、お宅に伺ってお子さんを見ることや、歯医者待合室でお子さんを見ていたこともありました。

**山下** お母さんが病院に行くときに預かることができました。その他にもお迎えに行つてそのまま自宅に連れてきて、お母さんの仕事が終わって迎えに来るまでの間、一緒にご飯を食べたり、テレビを見たり遊んだりしたこともありました。

ので、何か利用できないかと思えます。

**田中** 市内で一時的預かりが出来るところが増えるといいなと思います。また、ファミサポの預かりに使える場所が増えると、利用者も増えると思います。

**山下** 幼稚園等とファミサポを併用している方など、様々な状況の利用者の望んでいることを聞いて集約できるといいのではないかと思います。

取材を通して、人と人の触れ合いの中でやりがいや楽しさを感じている一方で、せっかくの事業をもっと利用していただきたい、事業の魅力を知ってもらい、援助会員を増やすことで次の世代につないでいきたいという思いを感じました。

※「ファミリー・サポート・センター」の詳細は、二次元コードから参照ください。



11月定例会の様子は、インターネットで録画配信しています。  
質疑や討論は内容を要約して掲載しています。  
詳しくは、インターネットの録画映像でご覧いただけます。

磐田市議会 配信 検索 クリック



# 議案審議

令和5年11月定例会  
会期 11月24日～12月22日 (29日間)

## 一般会計補正予算(第7号)などを審議

11月定例会では、市長提出の5年度一般会計補正予算(第7号)など一般議案22件、人事議案1件、請願1件を審議しました。  
なお、すべての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。

会派名の表記(人数)  
※5年12月22日現在  
「志」志政会(9)  
「せ」せいわ会(6)  
「新」新磐田(3)  
「共」日本共産党磐田市議団(2)  
「公」公明党磐田(2)  
「創」市民と創る磐田(2)  
「力」磐田の底力(1)

### 請願第2号

#### 小・中学校の給食費の無料化を求める請願

「小・中学校の給食費の無料化を求める請願」については、賛成少数のため不採択となりました。

(反対:志、せ、新、公、創 賛成:共、力)

賛成少数で不採択

請願者 学校給食費無料化を求める磐田市民の会

代表者 千葉みつ子さん  
外5144名

#### 請願の趣旨

学校給食は教育の一環であるとともに、子どもの健全な発達を支えるうえで重要な役割を果たしている。しかし、諸物価の高騰により、今年度給食費の値上げが実施され、保護者負担は増えている。複数の子どもを持つ家庭では、負担はさらに大きくなる。

文部科学省は、自治体の補助で「保護者負担を軽減または負担なしとすることが可能である」との見解を示している。  
全ての子どもが給食費の心配なく、平等に給食を食べられるよう、小・中学校の給食費無料化を実施されることを心から願う。

#### 討論がありました

##### 賛成

##### 給食費の無料化を求める

学校給食は教育の一環であり無料にすべきである。経済的負担の軽減、転入・定住の促進、地場産食材の活用で地域農業の振興など、市の政策の柱となる。一般会計予算の1%程度で実現できる。請願の採択を主張する。  
日本共産党磐田市議団 根津康広議員

##### 反対

##### 国費による対応を

学校給食費の無料化が、義務教育として、憲法の定める教育を受ける権利の一環とするならば、国からは同水準の教育を義務教育として受けることができる。自治体の財力に差があることから、国費で対応すべきものと考ええる。  
せいわ会 鈴木正人議員

##### 反対

##### 世代間負担の合意形成づくり

学校給食の平等な提供は、生活保護や就学援助制度等で一定程度達成している。給食費無料化には、「世代間の利害関係を含めた、社会全体で子育て・教育を担っていく」という合意形成が必要であり、請願の採択には反対する。  
新磐田 松野正比呂議員



### 議案第86号

#### 5年度一般会計補正予算(第7号)

全会一致で可決

この補正予算は、歳入歳出予算の追加、繰越明許費の設定、債務負担行為の追加及び地方債の変更であり、歳入歳出それぞれに10億7727万9千円を追加し、総額を728億9299万2千円とするものです。

#### 補正予算の主な内容

- こども医療費助成や生活保護費の増額
- 見付地区子育て支援センターの開設準備に要する経費の増額
- 4年度以前の実施事業に係る国庫補助金等の精算に伴う過年度返還金
- 人事院勧告に準じた給与改定及び人事異動等に伴う人件費の補正
- 向陽学府小中一体校の新校舎棟建設・既存施設改修や、豊岡支所の建設に要する経費の追加
- 海岸堤防の整備における県工事委託増額分の追加



#### 本会議での主な質疑

問 セミセルPOSレジシステム導入委託料の内容は。

答 会計課で行う現金収納の会計処理情報を記録管理するシステムを導入するもので、機器設置の初期設定費用、取扱い指導及び設置に係る調整費用になる。導入台数は会計課の窓口にて1台設置する。

問 アスベストの含有が判明した東新屋団地解体工事の内容は。

答 外壁におけるアスベストの除去工事を追加するほか、撤去作業による飛散防止のため3方向足場を4方向足場へ変更し、工事延長に伴う交通誘導員を追加する。

問 縁結びサポート事業の結婚新生活支援事業助成金の成果は。

答 若年者や低所得者の婚姻に伴う経済的負担の軽減や婚姻を機会とした移住促進に一定の効果があるものと認識している。

### 議案第98号

#### 市立幼稚園及び認定こども園預かり保育料徴収条例の一部改正

全会一致で可決

これは、市立幼稚園及び認定こども園における預かり保育の保育料の見直しのため、条例の一部を改正するものです。

#### 改正の主な内容

● 公立幼稚園及び公立認定こども園(幼稚園枠)で実施している預かり保育の保育料について、国の幼児教育・保育の無償化による単価と同額の450円に一本化することにより、保育の必要性が認められる場合は、保護者負担が生じないようにするものです。

なお、保育の必要性が認められない場合も、500円が450円に減額されます。

#### 本会議での主な質疑

問 保育料が日額450円となるが半日でも一日でも同額なのか。

答 幼児教育・保育の無償化が開始され、預かり保育においても保育の必要性がある場合には1日当たり450円が無償化の対象となった。現在、利用料の日額500円のうち450円が無償化の対象となり、差額の50円が保護者の負担となっている。今回の改正で無償化の額と同額とする。

問 改正の影響、預かり期間は。

答 保育の必要性が認められる利用者は自己負担がなくなるため、予算としては歳入の公立幼稚園使用料が5年度ベースで約238万円減額する見込みとなる。今回の改正による預かり期間の変更はないが、運用面において、新入園児の預かり保育の開始時期を現在の6月から4月に拡充していきたい。



# 委員会審査

議会では、委員会を設置し議案を詳細に審査しています。その内容の一部をお知らせします。

総務委員会	
<p>■委員長：秋山勝則 ■副委員長：小柳貴臣</p>	<p>■委員：平田直巳、小栗宏之、江塚 学、芥川栄人、高梨俊弘、岡 實</p>

### 消防団条例の一部改正

**問** 機能別消防団員の各方面隊や地域ごとの人数配分は。

**答** 居住地や出身の方面隊を基本として、各方面隊に均等に割り振る予定である。

**問** 機能別消防団員の任期は。

**答** 基本的に50歳までを対象とし、5年以上在籍できる方にお願いく。

**問** 機能別消防団員を加えてもなお不足する消防団員の条例定数の考え方は。

**答** 消防団活動の中心は基本消防団員であるため、機能別消防団員の割合を増やして消防団員の欠員を補うことは考えていない。基本消防団員の新規入団者の増加を図るため、引き続き団員確保対策を推進していく。

**問** 消防団員の減少を受け、今後の消防力全体の考え方は。

**答** 本来、消防団は常備消防を補完する立場であり、消防団員の確保のみに頼っているわけにはいかない。今後の自然災害への対応など、本市全体の消防・防災力の維持継続を考慮する中で、今後も消防

### 議案の内容

●5年度の人事院勧告に基づく国家公務員の改定に準じて、市職員の給料表や期末手当等の支給割合を改正するもの

**問** 会計年度任用職員について、5年度当初まで遡って適用しない理由は。

**答** 会計年度任用職員は、年度単位で処遇を約束した上で任用することとなる。引き下げの場合は、年度初めの約束から引き下げることとなり、生活設計への影響がある。引き上げの場合は、扶養の範囲で働き方を調整されている方も多く、健康保険の扶養など様々な影響がある。今回は遡及適用せず、翌年度に反映させる仕組みを今後も継続していく予定である。

民生教育委員会	
<p>■委員長：鳥居節夫 ■副委員長：鈴木正人</p>	<p>■委員：本間昭男、山下千賀子、永田隆幸、芦川和美、松野正比呂、根津康広</p>

### 市立幼稚園及び認定こども園預かり保育料徴収条例の一部改正

**問** どの程度の事務処理の改善が図られたのか。

**答** 幼稚園枠で実施している預かり保育の保育料が450円に一本化される。緊急預かり保育料においても500円から450円に減額される。今まで保育の必要性が認められる人については、50円分の差額を徴収していたが、その徴収事務が今後なくなる。

**問** 預かり保育の利用者数は。

**答** 本年9月実績で、保育の必要性が認められる人で通常預かり保育を利用した人が71人、緊急預かり保育を利用した人が164人、保育の必要性が認められない人で緊急預かり保育を利用した人が63人となっている。

**問** 待機児童の受け皿として機能しているのか。

**答** 人数的にもある程度の受け皿としての機能は果たしている。課題として午後4時30分以降のお子様をいかに預かるのかに対し、民営化も含め

### 議案の内容

●国保被保険者の産前産後期間の保険料を軽減する制度が新たに創設され、条例改正を行う。単胎児の妊娠の場合が4か月、多胎児の妊娠の場合が6か月の産前産後期間の所得割額と均等割額を軽減する。

**問** 所得割額と均等割額の免除の内容は。

**答** 出産することにより働くことができなくなる世帯の所得が減少することから、働くことができないうちに相当する期間分を軽減する。また、出産する被保険者も含めた世帯に属する人数に応じて、等しく均等割額が課されるので、その部分を軽減する。

**問** 免除される人数は。

**答** 市の国保の被保険者で出産した方は、令和4年度実績で85人だったので、同様の規模を想定している。

## 議案 第101号 消防団条例の一部改正

全会一致で可決

これは、磐田市消防団に機能別消防団員制度を導入するため、条例の一部を改正するものです。

### 改正の主な内容

- 消防団員の種類を、現在の消防団員である基本消防団員と、新たに導入する消防団経験者による機能別消防団員とする。
- 機能別消防団員を、災害活動に係る後方支援活動と特定の消防団活動に従事する団員とする。
- 機能別消防団員の任命
- 機能別消防団員の年額報酬、出勤報酬の金額



### 本会議での主な質疑

**問** 消防団員の減少による消防活動への影響は。

**答** 大規模災害時等における人員確保の懸念と、一部の団員への負担の偏りという影響が出ている。

**問** 機能別消防団員の確保策は。

**答** 把握している対象者への案内通知に加え、現役消防団員の声かけによる勧誘を行っていききたい。

**問** 機能別消防団員の活動内容は。

**答** 大規模火災時等で人員不足が発生した際に、交通誘導や物資搬送等の後方支援活動を行うほか、地震等の大規模災害時には地域と連携した活動を行う。

**問** 団員の年額報酬、出勤報酬の算出根拠は。

**答** 基本消防団員と機能別消防団員は活動内容と危険性等が異なることから、基本消防団員の士気の低下を招かないよう報酬額に差を設けている。年額報酬は、団員階級の基本消防団員の3万6500円に対し、機能別消防団員は1万円とし、出勤報酬は、基本消防団員の月額8000円に対し、活動内容が後方支援活動である機能別消防団員は半額の月額4000円としている。

## 議案 第107号 5年度一般会計補正予算(第8号)

全会一致で可決

この補正予算は、歳入歳出予算の追加及び繰越明許費の追加であり、補正予算第7号の補正後の額に、歳入歳出それぞれ10億3537万1千円を追加し、総額を739億2836万3千円とするものです。

### 補正予算の主な内容

- 国の経済対策を受け、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を大きく受けている方々への支援として実施する、低所得世帯に対する電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の支給に要する経費の増額
- ひとり親世帯に対する生活支援特別給付金の支給に要する経費の増額

### 本会議での主な質疑



**問** 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の支給条件は。

**答** 5年度分の住民税均等割が非課税である世帯という要件に変更はないが、基準日が今回は12月1日となる。前回は家計急変の世帯を対象としたが、今回は非課税世帯だけを対象としている。

**問** ひとり親世帯生活支援特別給付金給付事業の要件として児童扶養手当の受給世帯ということであるが、ひとり親世帯であっても給付金を支給されない世帯の状況は。

**答** 6年1月分の児童扶養手当の受給世帯は、前年度所得や家族構成に依りて、年度の申請の確定ができるのが11月、12月になるので、その後申請をいただいた方については1月に給付をする。基準日を設けることで、給付漏れをカバーできると考えている。

行政運営について／行政の諸課題について／まちづくりについて／市民の居場所について／産業振興について／防災について



せいわ会 質問者 戸塚 邦彦 議員



行政運営

問 有事に対する危機管理は。
答 国民保護法の警報は内閣総理大臣から知事へ、知事は市長へ通知し、市長は市民や関係機関に対し伝達とされている。
問 副市長1人制の考え方は。
答 副市長2人体制は市政運営の強化が図られ、外部とのつながり、専門的知識の活用なども期待できるため、必要な政策の1つと考えている。

行政の諸課題

問 姉妹都市の意義と今後の事業展開は。
答 未来を担う子どもたちがグローバルな国際感覚を身につける貴重な機会として大きな意義があると考えている。
問 今後の市内における無電柱化計画の考えは。
答 地域全体で計画を立てることは考えていない。

まちづくり（無電柱化）

問 磐田商工会議所から中遠総合庁舎までの無電柱化は。
答 県によると、現在、現地調査等を実施し、6年度以降、詳細設計に着手と聞いている。
問 磐田商工会議所から磐田駅までの進捗状況と課題は。
答 県と調整を図っている。
問 市内の横断的な取組は。
答 現在、地元の代表者とともに、ワークショップを実施している。
問 今後の市内における無電柱化計画の考えは。
答 地域全体で計画を立てることは考えていない。

市民の居場所

問 子どもの居場所の支援は。
答 今まで側面的な支援を行ってきたが、現在活動している団体や、これから活動を始める団体に対する新たな支援策を検討していく。
問 高齢者の居場所の支援は。
答 市社会福祉協議会にサロン指導員を配置し、サロンの立ち上げや運営の助言を行うとともにボランティア主体の活動への助成を継続していく。

産業振興

問 首都圏連携コーディネーター事業の実績・課題は。
答 首都圏企業との交渉件数は184件、マッチング成立件数は17件で、首都圏企業との新たな連携が生まれている。
問 農産物のブランド化による産地形成は。
答 引き続きブランド力の強化を図るとともに、現在新たな特産品の創出に向けてJ.A



防災

問 新消防庁舎での防災意識啓発の場所としての考えは。
答 防災関連資料の展示や庁舎内施設の見学スペースを整備し、市民や地域に開かれた庁舎整備を考えている。

市政を問う

代表質問・一般質問 (6会派) (3人)

要旨

代表質問とは？

会派（所属議員が2人以上）を代表した議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し行う質問を代表質問といい、本市議会では、11月定例会で行われます。

一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。

代表質問・一般質問は内容を要約して掲載しています。詳しくは、インターネットの録画映像でごらんいただけます。

磐田市議会 配信 検索

会派紹介

令和5年12月22日現在

志政会 9人



小柳貴臣 小池和広 芦川和美 寺田幹根 八木義弘 鳥居節夫 秋山勝則 永田隆幸 岡 實

せいわ会 6人



平田直巳 小栗宏之 本間昭男 鈴木正人 戸塚邦彦 加藤公人

新磐田 3人



芥川栄人 加藤文重 松野正比呂

日本共産党磐田市議団 2人



高梨俊弘 根津康広

公明党磐田 2人



鈴木喜文 江塚 学

市民と創る磐田 2人



山下千賀子 鈴木弥栄子

磐田の底力 1人



柏木 健



# 令和6年度予算編成と行政の諸施策について



公明党磐田 質問者 江塚 学 議員

**問** 排水ポンプ車導入の考えは。

**答** 排水路の改修やポンプ場の改良などの浸水対策を推進し、浸水被害等を軽減していきたい。緊急時には国や災害協定を締結したレンタル協会などに排水ポンプ車等の出動を要請する。



**問** 流域治水プロジェクトの取組は。

**答** 遠州流域治水協議会の一員として、総合的かつ一体的に取組を推進している。浸水被害の流域を重点対策流域に位置づけ、県と市が連携して流域治水対策推進協議会を設置し、ハード、ソフト両面の取組を盛り込んだ「水災害対策プラン」を策定する。



**問** 学校の断熱改修と、向陽学府小中一体校の校舎のネット・ゼロ・エネルギー・ビル「ZEB」などの認証取得の考えは。

**答** 既存校舎の計画的な屋上防水改修にあわせ、断熱材入りの防水材を採用し、最上階の教室などの熱負荷の低減を図っている。向陽学府小中一体校の新校舎は「ZEB Ready」の基準で計画しているが、別途費用がかかる認証取得までは考えていない。

**問** 認知症総合支援事業の拡充の考えは。

**答** 認知症の方やその家族に寄り添い、必要な支援を行うチームオレンジが発足したことから、メンバーを拡充するための周知や、さらに多くのチームの発足に向けた働きかけをしていきたい。



**問** 御厨駅を中心としたスポーツゾーン構想や、兎山公園などを活用したアーバンスポーツとスポーツツーリズムの取組は。

**答** 市全体の中でスポーツゾーンとしての整備の可能性について調査する。アーバンスポーツ資源を活用し、交流人口の増加につなげていきたい。

**問** HPVワクチンのキャッチアップ接種対象者に対する再勧奨の考えは。

**答** 未接種分がある方へ再度勧奨通知を5年度内に発送する予定である。

**問** 御厨駅を中心としたスポーツゾーン構想や、兎山公園などを活用したアーバンスポーツとスポーツツーリズムの取組は。

**答** 市全体の中でスポーツゾーンとしての整備の可能性について調査する。アーバンスポーツ資源を活用し、交流人口の増加につなげていきたい。

## 議会豆知識



**本会議**  
議員全員で構成され、市議会の意思を決定するほか、市政全般について質問を行う会議です。市議会に提出された議案や市議会としての意見表明などの可否は、最終的にはすべて本会議において決められます。本会議では、2月・6月・9月・11月に開会する定例会と、必要なときに開かれる臨時会があります。

**議会運営委員会**  
円滑な議会の運営を図るため、議会運営全般について協議・調整を図る会議です。

**常任委員会**  
条例で任意に設置することができ、市の事務に関する調査を行い、議案等を審査します。本会議では総務委員会、民生教育委員会、建設産業委員会、予算決算委員会、広報広聴委員会の5つの常任委員会があります。

**特別委員会**  
複数の常任委員会にまたがる事項や特に重要な事項等を審査するために、議会の議決に基づき設けられます。

# 新年度予算編成と行政運営について／魅力ある磐田市を目指して／子育て・教育について



新磐田 質問者 加藤 文重 議員

**問** 基本方針は。

**答** 新規拡充や縮小施策については現在、予算編成過程の中で検討しているが、新たな価値を共につくり上げていくことを意識した事業展開を目指したい。

**問** 旧市民文化会館跡地の現状における活用について伺う。

**答** フェンスでの囲いを当面外せない制約があるが、臨時駐車場として問合せがあれば貸出しを行っている。それ以外の一時的な活用でも要望があれば検討していきたい。



**問** 市民が災害ごとの一時避難場所を認識し、また、市民に避難場所と指定避難所の違いを周知する必要があるが見解は。

**答** 水害だけでなく地震、津波も想定した「わたしの避難計画」の作成を県と連携して進めている。市民が避難場所を認識できるよう、防災講座を実施し、避難場所と指定避難場所の違いを分かりやすく周知していく。

**魅力ある磐田市を目指して**

**問** 市内で初開催される卓球「リーグ」公式戦の開催方法と期待する効果は。

**答** 「かたりあ」の舞台を使用して開催する。文化施設でスポーツ競技の公式戦を開催するのは初めての試みであるが、新たな文化施設の活用の取組として期待している。

**子育て・教育**

**問** 不登校児童生徒が増加している。原因の把握と対応は。

**答** 不登校の原因は多様化、



複合化しており、その原因を特定することは難しい。対応は、4年度に見付地区に不登校児童生徒を受け入れる第2の教育支援センターを開設し、6年度中には第3の教育支援センターの開設を目指し検討を進めている。

**問** 向陽学府におけるバス通学の検討は。

**答** 6年度に通学に関する検討委員会を設置し、市内全ての小中学校の安全な通学の在り方を検討したい。特に、小学校低学年の夏季における通学の在り方を中心にスクールバス運行基準を検討していく。

## 議会豆知識



**市議会議員**  
4年ごとの選挙によって市民から選ばれた「市民の代表者」。本会議会議員の定数は条例で26人としています。

**議長・副議長**  
議長と副議長は、議員の中から選挙で選ばれます。  
議長は議会の代表者として、議場の秩序を保ち、議事を整理し、議会の事務を処理します。  
副議長は、議長が不在のときや欠けたときに、議長の代わりに職務を行います。

**党派**  
市政に対する同じ意見や考え方をもち、議員が集まり結成された団体のことです。



# 磐田市の方向性と新年度予算の基本方針について／持続可能な磐田市に向けて／磐田市の諸課題について



志政会 質問者 秋山 勝則 議員



## 方向性と予算方針

**問** まちの将来像に対する現状は。

**答** 5つの安心プロジェクトに基づき計画的に進んでいると認識している。地域や企業関係団体との共創により、安心で幸せが実感でき将来に希望が持てるまちをつくりたい。けるよう進めていきたい。

## 持続可能な磐田市に向けて

**問** 迅速な復旧・復興の取組と、今後の流域治水に基づく対応は。

**答** 被災者支援の冊子の活用や災害時応援協定事業者との意識共有、被災者生活再建支援システムの導入を進め、県と連携し、流域治水対策推進協議会を設置した。ハード、ソフト両面の取組を盛り込んだ水災害対策プランを策定し、流域治水対策を進めていく。

**問** 稼ぐ自治体として、自主財源確保の方策は。

**答** ふるさと納税、企業版ふるさと納税や、広報紙やホームページ、庁舎内壁面等の有料広告事業なども行っている。



# 暮らしを守り、希望を届ける新年度予算編成を／まちづくりの諸課題について／教育の諸課題について



日本共産党磐田市議団 質問者 根津 康広 議員



## 希望を届ける新年度予算編成

**問** 重点施策、新規事業は。重点戦略として、働く場所・雇用の共創、住みたくなる・集まりたくなるまちに向けた共創、新たな価値・魅力の共創の3つを設定し、予算編成を進めている。新規事業等は、現在予算編成過程の中で検討している。

**問** 歳入、歳出の見込みは。  
**答** 歳入では、市税収入や国・県補助金等の増額を見込んでいる。歳出は、海岸堤防や向陽学府小中一体校、中東遠消防指令センターのシステム整備等が見込まれ、各課からの予算要求段階での合計は760億円程度となっており、今後、財政査定で調整する。



## まちづくりの諸課題

**問** 岩田・大藤・向笠地区の土地利用の取組は。

**答** 市内の市街化調整区域における人口減少対策のため、既存法の中で、優良田園住宅という新たな制度の活用について県と協議を進めている。市としては、まちづくりに有効なものは積極的に取り組んでいきたいと考えている。



**問** 旧市民文化会館等の跡地の活用策は。

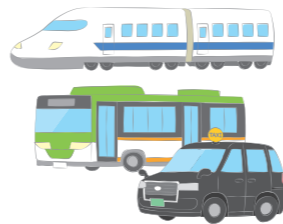
**答** これまでの検討経過と現状を整理しながら、5年度末をめどに方向性を示すことができるよう協議を進めていく。

**問** 児童館に代わる複合施設の検討状況は。

**答** 県内外にあることも未来館等を視察してきたが、現時点では、6年オープン予定の(仮称)こども家庭センターや子育て支援センターの充実を図ることを優先的に進めていく。

**問** デマンド型乗合タクシーの充実策とJR御厨駅へのバス路線乗入れの検討内容は。

**答** デマンド型乗合タクシーは、目的地の追加などの改善と併せて利用者負担額や割引制度の見直しに取り組みむことで持続可能なものにしていきたい。JR御厨駅へのバス路線の乗入れについては、現在アンケートやヒアリングを実施しており、結果をまとめて地域公共交通会議の検討部会等で検討を進めていきたい。



## 市の諸課題

**問** 本市の不登校の分析と不登校に対する考え方、初期支援の在り方と、フリースクール等の設置や誘致は。

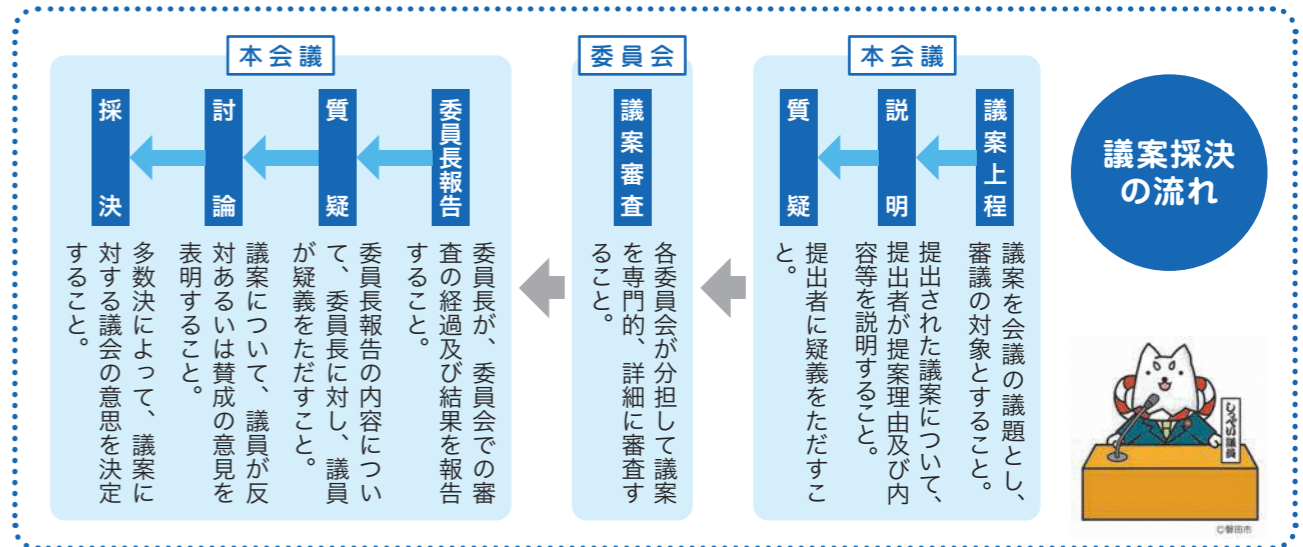
**答** 本市でも不登校児童生徒数が増加している。不登校への対応として、子どもたちが学校・社会とのつながりや関わりを持てる環境を整えていきたい。初期支援では、個に寄り添い、必要な支援を丁寧に見定めることが大切であると考えている。フリースクール等の設置や誘致は、民間団体と連携を図っていきたい。

## 地域包括ケアシステムの今後の展望と、在宅医療の課題と方向性は。

**答** 必要な人に必要なサービスが提供できるように今後も介護予防等の取組に力を入れていきたい。在宅医療は、医師の確保が課題であると認識している。医療・介護・福祉関係機関の連携をさらに強化し、将来の在宅医療の在り方を見据えて、地域医療を支える医療従事者の確保に向けて検討していく。

**問** 必要の人に必要サービスが提供できるように今後も介護予防等の取組に力を入れていきたい。在宅医療は、医師の確保が課題であると認識している。医療・介護・福祉関係機関の連携をさらに強化し、将来の在宅医療の在り方を見据えて、地域医療を支える医療従事者の確保に向けて検討していく。

## 議案採決の流れ



# 市の施策の優先順位について



問  
答

磐田の底力 柏木 健 議員



**問** 市の空き家対策として、誰かに住んでもらう管理行為と更地にして売却し再建する変更行為の優先順位は。

**答** 重要なことは、問題の予防である。優先順位をつけるのではなく、地域や周辺環境の状況も含め、個々の空き家にあわせて所有者を支援したい。また、周囲に悪影響を及ぼす空き家は、法に基づく指導により問題の解消を図っていく。

**問** 病院建設も含め南部地域の住民への高度医療の提供や救急への対応の優先順位は。

**答** 南部地域の救急医療施設は、市医師会や市立総合病院等関係機関と協議を重ね、旧夜間急患センターと急患救急在宅医制度の機能を集約した市急患センターとなっている。現行の県の保健医療計画では、中東遠医療圏の病床数は基準病床数より多く、一般病床を増床することが原則できない。今、南部に病院を造ることは考えていない。



**問** 第二次ベビーブーム世代の40代、50代の失業者への対応についての優先順位は。

**答** 求職者を対象とした転職・再就職相談カフェなどの開催をはじめ、暮らしと仕事相談センターの周知を図りながら、相談者に寄り添った支援をしていきたい。

# スポーツ、文化行政の諸課題／教育の諸課題／消防力の強化



問  
答

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員



**問** アンケートから「英語好き」な中学生の現状と課題は。

**答** アンケートから「英語好き」な中学生の現状と課題は。

**問** 全国学力・学習状況調査における中学英語の結果と課題は。

**答** 平均正答率は全国平均を上回ったが、会話の要点を聞き取る問題の一部に課題が見られた。

**問** スポーツのまち磐田のブランド定着の具体的な考えは。

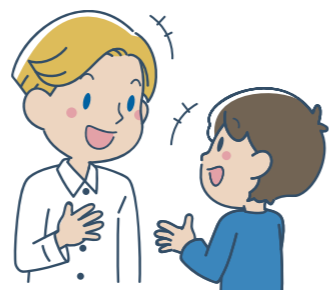
**答** 本市を拠点に活動するスポーツチームなどと連携を図り、様々な事業を実施する。情報発信に力を入れ、磐田というイメージを全国に定着させ、スポーツのまちナンバーワンの継続を目指す。

**問** 自主防災会の可搬ポンプの現状と課題は。

**答** 市内全域の自主防災会にC級の可搬ポンプを貸与している。軽量のD級の可搬ポンプは既に生産が終了しているため導入はできないが、高齢者でも操作が簡易な資機材の情報収集に努める。

**問** 消防団の消防操法大会訓練の見直しの現状と課題は。

**答** 大会出場の実施から輪番制に変更された。出場年度に限り訓練をし、団員の負担軽減を図っていく。



# 気候危機対策の促進について／防災・減災対策の推進について／男女共同参画社会の実現について



市民と創る磐田 質問者 鈴木弥栄子 議員



**問** 地元産の有機栽培米を幼稚園、保育園、こども園、小中学校の給食に、実施可能な



**問** 「みどりの食料システム戦略」の目標を達成するための2050年までの計画は。

**答** まずは既存農業者の機運醸成や有機農業を志向される方の伴走支援に努め、耕地面積に占める有機農業の割合を2030年に1・5%、2050年に25%を目指したい。

**問** 「全国オーガニック給食協議会」に参加したが、今後の取組は。

**答** 学校給食における市内産野菜の使用量向上に努めながら、将来的には有機栽培の農産物使用量を高めることにならしていきたい。

## 気候危機対策の促進

日数だけ使用することについての見解は。

**答** 現在、市内での有機栽培米の生産、学校給食での導入に向けてJA遠州中央や関係者と協議を始め、その仕組みづくりに努めている。

## 防災・減災対策

**問** 被災住民の心のケアのため、災害に特化した傾聴ボランティアの養成を進める必要があると考える。見解は。

**答** 市社会福祉協議会と連携し、6年度に実施予定のスキルアップ講座などで被災者への理解が深まる機会を提供し、担い手の養成に努めたい。



**問** 原子力発電所での事故発生後、安定ヨウ素剤を服用効果の高いタイミングで服用す

るために、市民へ事前配布することについての見解は。

**答** 災害時の混乱している状況で円滑な配布を考えると、事前配布は有効な手段と考える。事前配布を実施している自治体から情報収集していく。

## 男女共同参画社会の実現

**問** セクシャル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）について、親や若者世代を対象とした学習機会を作ることについての見解は。

**答** 4年度は未就学児親子に、5年度は小学校低学年親子に対する性教育講座を実施した。認知度はまだ低いので、講座は継続していきたい。



## 市議会の役割



**議決**  
市政を進めていく上で重要な事項については、市議会の決定が必要です。これを「議決」といいます。市議会が議決する主なものは次のとおりです。

- ・ 条例を定めたり、改正したりすること
- ・ 予算を決めること
- ・ 決算を認めること
- ・ 市の税金、使用料、手数料などを決めること
- ・ 工事や不動産の売買などの重要な契約を認めること

**選挙・同意**  
議長、副議長、選挙管理委員会などを選挙したり、市長が副市長・教育委員・監査委員などを選任する際に、同意を与えます。

**検査・調査・監査請求**  
市政が正しく運営されているかどうか、市の事務に関する書類を検査したり、関係者の出席・証言、記録の提出を求めたり、監査委員に監査するよう求め、市民の代表として市政を監視します。

**意見書の提出**  
市議会の意思として、国会や関係行政機関に意見書を提出し、市民生活にかかわりのある問題点について積極的な解決を求めます。



# 行政視察報告

議会運営委員会や常任委員会では、所管する事務に関する審査や調査のため、他の自治体の先進的な取組等について行政視察を行っています。  
今回は、総務委員会及び建設産業委員会の行政視察の内容をお知らせします

## 総務委員会

(調査項目) ダイバーシティの推進

10月16日～10月18日

### 岡山県瀬戸内市

●副市長直轄の推進体制による取組

瀬戸内市は、5年4月から副市長直轄組織のダイバーシティ推進室を新設し事業推進している。推進体制は、幹部職員、課長等、各課担当からなり、施策は各担当課が実施し、その行動の具現化のための「表現のガイドライン」を作成予定である。本市でも5年度にダイバーシティ推進室が設置された。外国人人口が多く、様々な問題への対応が求められる。全庁的な推進体制が望ましいと感じた。

### 大阪府池田市

●市直営施設を拠点とした事業推進

池田市では、4年4月にダイバーシティセンターを公設直営で開設し、多文化交流、男女共同参画、人権啓発の拠点としている。多目的スパー

### 兵庫県尼崎市

●条例・計画に基づく取組

尼崎市では、2年に人権文化いきつくまづくり条例を制定し、3年から10年間の人権文化いきつくまづくり計画を策定した。これを契機に、

外国人総合相談センターの設置、外国人生活実態アンケートの実施など計画の進捗状況の公表のほか、条例の浸透には誰もが親しみやすいよう身近な人権シーンが描かれた啓発本を作成している。本市も管理体制の検討と分かりやすい啓発資料が必要と感じた。

### 岡山県倉敷市

●中心市街地活性化の取組について

倉敷市は繊維のまちとして発展し、「倉敷デニムストリート」や、「児島ジーンズストリート」があり、地元産業を活かした、伝統的な技術をま

## 建設産業委員会

(調査項目) ゼロカーボンシティ/中心市街地活性化

10月31日～11月2日

### 愛知県豊田市

●ゼロカーボンシティに向けた取組について

豊田市は、市民・行政・事業者が一体となって取り組む意識が高く、地元の資源を積極的に活用している。また、環境意識をもった職員が各部署に配属されており、横断的な連携がとられている。

本市も環境基本計画に占める再エネのポテンシャルは非常に大きい。担当部署だけでなく、各部署にも横断的意識をもった職員を配置する必要があると感じた。

### 香川県丸亀市

●丸亀市地球温暖化対策の取組について

丸亀市は、ゼロカーボン推進室を設置し、5年には地方創生人材支援制度を活用し、非常勤のグリーン専門家を配属し、環境問題に積極的に取り組んでいる。また、年間日照時間が長く、再生可能エネルギーの太陽光を有効的に活用しており、本市と共通した資源の有効活用方法も参考になった。本市も、積極的な人材活用と資源の有効活用により、ゼロカーボン実現へ向け積極的な推進が必要であると

## 教育の諸課題について / 自然環境の諸課題について



問答



市民と創る磐田 山下千賀子 議員

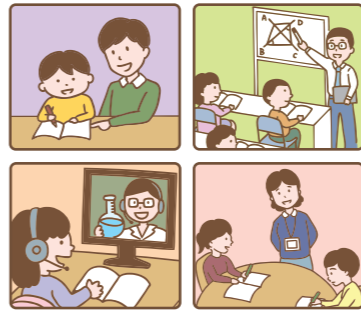
### 教育の諸課題

問 国語を通じた意見をつなぐ学び合いの授業の手法を取り入れ、不登校児童生徒の支援につなげられないか。

答 学校生活全体を通して、児童生徒一人一人が安心して発言や行動ができる学級、学校づくりを進めていきたい。

問 第3の教育支援センターを不登校児童生徒が安心して居場所にするための考えは。

答 児童生徒の多様なニーズに応じ、多様な過ごし方ができる場や安心して過ごせる環境づくりに努めていきたい。



問 不登校児童生徒が安心して過ごせる「メタバースを活用したオンラインの居場所」をつくる考えは。

答 インターネット上の仮想空間で得られた学びや経験を社会的な自立にどう生かすかを視点に、導入の可能性について研究していきたい。

問 障がいのある子どもとない子どもがともに活動する「交流及び共同学習」を行っており、今後進めていく。

答 障がいのある子どもとない子どもがともに活動する「交流及び共同学習」を行っており、今後進めていく。

自然環境の諸課題

問 敷地川をはじめ、河川の許容水量を超える豪雨災害を防ぐための流域治水の取組は。

答 流域の関係者が共同し、流域治水プロジェクトによる水災害を軽減させる対策の推進に努めている。

問 洪水抑制のため、財産区や私有の山林を管理する取組を進める支援は。

答 本市の森林整備事業補助金や県の森の力再生事業の調整等の支援をしている。

代表・一般質問用語解説



※1 ネット・ゼロ・エネルギー・ビル「ZEB(ゼブ)」(P11)

快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。建物の中では人が活動しているため、エネルギー消費量を完全にゼロにすることはできませんが、省エネによって使うエネルギーを減らし、ZEBで創るエネルギーによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味(ネット)でゼロにすることができ

※2 ZEB Ready (P11)

ZEBを見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化と高効率な省エネルギー設備を備えた建築物のことです。具体的には、再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物のことです。

※3 HPVワクチン (P11)

子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチンのことです。

※4 優良田園住宅 (P12)

農山村地域、都市の近郊その他の良好な自然的環境を形成している地域に所在する一戸建ての住宅で、敷地面積300㎡以上、3階建て以下で建ぺい率30%以下、容積率50%以下といった基準を満たすものをいいます。

※5 みどりの食料システム戦略 (P14)

食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するため、農林水産省において策定した戦略のことです。

※6 メタバース (P16)

インターネット上に自分の分身となるキャラクター(アバター)を投影して活動を行う、現実世界を模した仮想空間のことです。

# 令和5年度磐田市議会「シティミーティング」で いただいたご意見を紹介します

市議会では、市民の皆さんからご意見をお聞きし、それを市政に反映する取組として、令和5年10月29日（日）に磐田市議会「シティミーティング」を開催しました。「シティミーティング」では、総務、民生教育、建設産業の常任委員会ごとに、現在取り組んでいる所管事務調査の報告を行った後、関連するテーマに基づき意見交換を行いました。今回は、意見交換でいただいた主なご意見を紹介します。

## 常任委員会の取組報告

- 総務委員会
  - ・ダイバーシティの推進
- 民生教育委員会
  - ・子育て支援について
- 建設産業委員会
  - ・産業振興による中心市街地の活性化について



## 常任委員会の取組報告を参考に意見交換をしました ～主なご意見～

### テーマ：お隣さんは外国人 ～地域で共に暮らしていくためには～

- 顔の見える関係づくり
- 文化・習慣の違いを理解し合う
- 笑顔であいさつ
- ルール（マナー）を知ってもらい、理解を得る
- やさしい日本語の普及

### テーマ：磐田市に必要な子育て（孫育て）サポートについて

- 児童館がほしい
- 育児（病児）保育の充実
- 学級閉鎖になった時の子どもの居場所
- 産後ケアの充実
- スクールバス登下校の安全性
- 子育て支援センターの利用のしやすさ
- 不登校児のきめ細かな対応、親へのサポート

### テーマ：まちの賑わいづくりに何が必要だと思いますか

- 磐田の良さを発信する情報発信施設
- 地域に若い人と高齢者が交流する場をつくる
- 地域資源の活用（農業体験、竹材の活用、耕作放棄地の活用、自然の活用、道の駅をつくる）
- 空き家の活用
- 地域の資源を知ること
- 農業の担い手を増やすために（グリーンツーリズム）
- 空き家を活かすアイデアコンテスト



## いただいたご意見の活用について

各委員会においては、検討が必要な項目について現状の把握をし、課題の優先順位を整理したうえで、市行政に対する政策提言や提案へ活用していきます。また、議会の各会派等においても、活動の参考とします。



# Topics

## 11/2 民生委員・児童委員協議会と意見交換会

民生教育委員会は11月2日に磐田市民生委員・児童委員協議会と懇談会を実施しました。懇談会では、「各地区の実情や困りごと」の報告を受けたあと、意見交換をして、活動に対しお互いに理解を深めました。



## 11/2 行政視察受け入れ ～藤枝市議会BCP策定プロジェクトチーム～

藤枝市議会BCP策定プロジェクトチームが、磐田市議会業務継続計画（議会BCP）について調査するため、視察に訪れました。視察では、議会BCP策定の過程や実際の適用状況について説明するとともに、質疑応答や意見交換を行いました。



## 11/9 行政視察受け入れ ～各務原市議会議会運営委員会～

各務原市議会議会運営委員会が、磐田市議会業務継続計画（議会BCP）について調査するため、視察に訪れました。視察では、議会BCP策定の過程や改訂手順、訓練の実施状況について説明するとともに、質疑応答や意見交換を行いました。



## 11/16 行政視察受け入れ ～大崎市議会議会運営委員会～

大崎市議会議会運営委員会が、議会活性化の取組について調査するため、視察に訪れました。視察では、議会報告会やDX推進の取組、議会BCPについて説明するとともに、質疑応答や意見交換を行いました。



## 11/16 視察研修実施

市議会は、世界かんがい遺産に登録された寺谷用水について理解するため、視察研修を実施しました。

寺谷用水土地改良区事務長の青木俊篤氏により寺谷用水の歴史と概要について説明を受けた後、寺谷コントロールセンターや船明ダム等の関連施設の説明を受けながら見学したことで、寺谷用水について理解を深めました。



## 11/20 議員研修開催

市議会は、郷土の歴史について理解するため、緑十字機の不時着と本市との関わりなどについて、緑十字機不時着を語り継ぐ会発起人の三浦晴男さんに講演いただきました。

三浦さんから緑十字機の不時着と本市との関わりなどについて説明を受け、歴史における緑十字機不時着の位置づけについて理解を深めました。



# 審議結果

## ■全会一致により可決・同意された議案

- (1) 5年度一般会計補正予算（第7号）
- (2) 5年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- (3) 5年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
- (4) 5年度水道事業会計補正予算（第1号）
- (5) 5年度下水道事業会計補正予算（第1号）
- (6) こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- (7) 市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- (8) 特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例等の一部改正
- (9) 職員の給与に関する条例の一部改正
- (10) 職員等の旅費に関する条例の一部改正
- (11) 自転車等駐車場条例の一部改正
- (12) 子育て支援センター条例の一部改正
- (13) 市立幼稚園及び認定こども園預かり保育料徴収条例の一部改正
- (14) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- (15) 消防団条例の一部改正
- (16) 火災予防条例の一部改正
- (17) 海岸防潮堤建設工事委託に関する契約の変更
- (18) 市道の路線廃止
- (19) 国民健康保険税条例の一部改正
- (20) 小中一貫教育の推進等に係る市費負担教員の任用等に関する条例の一部改正
- (21) 5年度一般会計補正予算（第8号）
- (22) 人権擁護委員の候補者推薦

## ■その他本会議で議題となった事件

- (1) 市議会議員の派遣

## ■意見の分かれた請願

件名	会派名	志政会 9人	せいわ会 6人	新磐田 3人	日本共産党 磐田市議団 2人	公明党磐田 2人	市民と 創る磐田 2人	磐田の底力 1人
小・中学校給食費の無料化を求める請願		×	×	×	○	×	×	○

※公明党磐田の会派人数は2人ですが、採決は鈴木喜文議長を除いた1人で行います。

○：賛成 ×：反対

## 2月定例会の予定

(2月15日～3月22日)

日	月	火	水	木	金	土
2/11	12	13	14	15 本会議 (議案上程)	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26 本会議 (一般質問)	27	28	29 本会議 (議案質疑)	3/1	2
3	4 予算決算委員会分科会(審査) 常任委員会(審査)	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14 予算決算委員会 (採決)	15	16
17	18	19	20	21	22 本会議 (採決)	23

### ※いずれも午前10時から

日程は変更する場合があります。

一般質問を行う議員の順番や内容につきましては、2月22日(木)にホームページ上で公開を予定しております。また、聴覚障がい者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆者の手配等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局(電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845)までお問い合わせください。

## 表紙の写真

静岡県立磐田北高等学校 1年生  
芸術部 <sup>しばた</sup> <sup>さら</sup>  
柴田 紗良 さん

この写真は、磐田北高校の校門の近くにあるイチヨウの木から風で落ちた葉を、いつも仲良くしてくれている友達と集めて撮ったものです。『これからもずっと仲良くいられるように』という気持ちを込めてハートの形にしました。学生ならではのローファーでイチヨウの葉を囲み、高校生活の思い出として写真に収めました。



11月定例会は各会派の代表質問がありました。代表質問当日、市長がインフルエンザに感染して欠席することになりました。代表質問に対する答弁は副市長が代わりに、滞りなく終了しました。当日、議会では会議直前に議会運営委員会を開催し、運営の変更について協議しました。突発的なことにも迅速に対応することの重要性を学んだ議会でした。

(高梨俊弘)

### 【広報広聴委員会】

- 委員長：永田隆幸 ■副委員長：平田直巳
- 委員：八木義弘、山下千賀子、江塚学、芥川栄人、高梨俊弘

次回は5月1日発行予定です。